

理科に力を入れていて、中学1年生は生物室・化学室、中学2年生は物理室で教科書に載っている実験を実際にやらせていただけるため、理科の面白さを学ぶことができます。中高一貫校であることを生かし、高2までに高校3年生の勉強が終わり、共通テストに向けての演習時間が多く確保できることがよかったです。特に数学などは高校3年生の一年を全て演習に使うことができ、共通テストだけでなく、2次試験の対策にもなったと思います。また中高の校舎が繋がっているため、中学生の頃から高校の先輩方が目標に向かって必死で勉強している姿を間近で見ることができ、良い刺激になります。高校に入ると、先生方が放課後や長期休暇中にさまざまな課外を実施してくださり、日頃の授業や模試の対策、さらに自分が興味のある分野の知識を深めることができます。

一番思い出に残っているのは文化祭です。短期間で準備をしなければいけないため、クラスの人との絆が深まり、自分の仕事、役割を果たす責任感や協力することの大切さを学ぶことができます。

茨中・茨高の良いところは勉強する雰囲気と環境が整っていることです。周りの友人たちは皆将来のビジョンを持っているので、当然目標に向かって勉強するし、それに刺激を受けて自分も頑張ろうと思えます。中高一貫校であることも茨中・茨高の良いところだと思います。6年を同じ仲間と共に過ごし、学年の先生方のメンバーがほぼ変わらないため、お互いに絆が深まります。話しやすい先生方も多く、勉強のことだけでなく、進路の悩みや受験における不安などを真剣に聞いてくださるので、とても心強いです。先生方が作るプリントや問題冊子、課外授業が充実しているため、それらをしっかりこなしていれば塾などに通わなくても十分受験で闘っていけるレベルに到達することができることも良かったです。

大学進学後は、看護の技術と専門知識を身につけ、国家試験合格のために一生懸命学びたいと思います。そして将来は、手術室看護師として、他の医療職の方と協働して円滑に手術が行えるようにサポートし、手術を受ける患者さんにしっかりと寄り添っていきたいと思います。